

## 令和7年度 第1回地域医療支援病院に関する委員会 議事録

開催日時	令和7年5月27日(火) 13時30分から14時20分まで	
開催場所	大垣市民病院2病棟1階 会議室	
議題	委員長及び副委員長の選出について、定例報告及び紹介率向上への取組みについて	
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会会长 沼口 諭
	委員	大垣市医師会理事 森 俊治
	委員	揖斐郡医師会会长 野田 宜輝
	委員	大垣歯科医師会副会長 北村 浩之
	委員	大垣薬剤師会会长 松本 正平
	委員	大垣市女性連合会会长 竹中 昌子
	委員	岐阜協立大学看護学部准教授 遠渡 紗代
	委員	西濃保健所所長 河野 芳功
傍聴人	0人	
記録方式	要約	
概要	<p><b>1. 委員長及び副委員長の選出について</b>          「大垣市附属機関設置条例」の第5条第1項の規定に基づき、委員の互選によって、委員長には大垣市医師会会长の沼口 諭氏、副委員長には大垣歯科医師会会长の馬淵 直樹氏が選出された。</p> <p><b>2. 報告事項</b></p> <p><b>(1)定例報告事項</b></p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況、⑧地域の医療機関との連携相談実績等について報告した。</p> <p>①紹介率……6年4月～7年3月:71.6%              7年4月:71.2%</p> <p>逆紹介率…6年4月～7年3月:145.2%              7年4月:146.7%</p> <p>②地域連携予約診察件数…6年4月～7年3月計:11,370件              7年4月計:988件</p> <p>地域連携予約検査件数…6年4月～7年3月計:791件              7年4月計:57件</p> <p>③開放型病床登録医数…7年4月末:162人(医科133人、歯科29人)          開放型病床利用率…6年4月～7年3月:6.0% 7年4月:2.7%          緊急緩和ケア病床利用率…6年4月～7年3月:0% 7年4月:0%</p>	

	<p>④救急受診患者数…6年4月～7年3月計:35,704人(月平均2,975人) 7年4月 2,390件</p> <p>救急車利用件数…6年4月～7年3月計:10,608件(月平均884件) 7年4月 748件</p> <p>救急入院患者数…6年4月～7年3月計:3,652件(月平均304件) 7年4月 274件</p> <p>⑤地域医療従事者に対する研修</p> <p>*病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会、西濃地域緩和ケア研修会、薬薬連携研修会、糖尿病メディカルセミナー、診療報酬に関する委員会等 6年4月～7年3月開催数:26回、院外受講者76人 7年4月・5月開催数:2回、院外受講者39人 市民対象講演会等 6年4月～7年3月開催数:8回、院外受講者276人 7年4月・5月開催数:開催実績なし</p> <p>⑥地域連携クリニカルパス登録状況…6年4月～7年3月登録総数725件 7年4月登録総数55件 7年4月末時点でのパス開始からの登録総数:13,573件</p> <p>⑦OMNet利用状況…7年4月末時点の利用登録医療機関:133機関 診療情報閲覧に同意した患者総数:46,787人</p> <p>⑧地域の医療機関との連携相談実績…6年4月～7年3月計:12,164件 7年4月 1,045件</p> <p>医療相談実績…6年4月～7年3月計:1,902件 令和6年度諸記録の管理・閲覧 0件</p> <p>2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。</p> <p>(委員) 開放型病床の利用率が前年度も6年度も10月、11月以降の利用が無くなっていますが、何か理由があるのでしょうか。</p> <p>(事務局) 偶然だと思われます。</p> <p>(委員) 下り搬送は市民病院に運ばれた方が他の病院に返されるという意味でよろしいでしょうか。</p> <p>(事務局) 施設等から市民病院に救急車で搬送された方が診察を終えた時点で、大垣市民病院でなくても十分、少し規模の小さい病院でも対応できるだろうという状態であれば、市民病院の車で医師が同乗して、その病院にお送りしてそこで治療を続けてい</p>
--	---

	<p>ただくというのが下り搬送となります。</p> <p>(委員) 下り搬送に使う車両とか、運転手は職員の方が運転されているのでしょうか。急変対応できるような体制は当然とられていると思いますが、どのような形で運用しているのでしょうか。</p> <p>(事務局) 体制として当院の救急車を利用しており、同乗者には当院の医師を配置しております。運転手につきましては、当院の運転手を使っております。</p> <p>(委員) クリニカルパス登録患者で、実際パスを登録しても途中で来なくなる方もみえますが、その数も今日の数字の中に入っていますか。通院しているちゃんとフォローできている方だけでしょうか。</p> <p>(事務局) かかりつけの先生の方に受診されていなくて、こちらに受診されていないときの対応については、その診療科の先生にお任せしております。 そこでその患者さんに連絡するケースもあれば、病態がさほど大きなものでなければ、そのままフェードアウトというような事はあります。その数字まで今日の数字に現れてはいないと思います。</p> <p>(委員) パスなんですが、事務局の方が事前にこういう方を新しいパスでやりたいのですがいいですかと確認いただくんんですけど、事前に全例確認をとっているのですか。事前に連絡があるケースと無いケースがありますので。</p> <p>(事務局) 地域連携を通してやる場合と、各診療科で登録する場合もありますので、その違いだと思われます。</p> <p>(委員) 前院長が診察予約をいずれ全部メールでやるとおっしゃってみえましたが、実際の運用はどうですか。</p> <p>(事務局) 件数としては2カ月に1回、3カ月に1回程度です。 現場の先生のお話を聞くと、FAXの方がやりやすいとおっしゃる先生もおみえになります。ただ、こういう時代になって来ているので、OMN e tで予約する方法を検討しています。</p> <p>(委員)</p>
--	--

	<p>ぜひFAXは残していただきたいというのが意見です。</p> <p>(委員) 電話予約の件数で4割近くが歯科口腔外科ですが、歯科の件数が多いという事で迷惑をかけているとかそういう事はありませんか。</p> <p>(事務局) 全く問題ございませんので、ご利用いただいて大丈夫です。</p> <p><b>(2)紹介率向上への取り組みについて</b></p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。</p> <p>①令和6年度の患者さんからの電話予約実績は749件。地域別では大垣市の先生が約9割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約4割を占めており小児科、頭頸部・耳鼻咽喉科の順となっている。7年度4月の患者さんからの電話予約実績は69件。</p> <p>②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和4年度から令和6年度までの3年間で利用合計は171件。診療科別としては、皮膚科が29.4%、糖腎内科が20.6%で、この2科で約5割を占めた。7年度4月の相談件数実績は4件。</p> <p>2)委員から、上記の報告について意見・質問はなし。</p> <p><b>3. その他</b></p> <p>(委員) 病院薬剤師の採用募集を早期にかけられたと思いますが、その辺りを教えていただけますか。</p> <p>(事務局) 今年度につきましては、早めの募集という事で現在採用活動、試験中です。試験中ということもありますので、次回であるとか、他の機会でお伝えする事ができると思います。</p> <p>(委員) マイナ保険証のトラブルが全国で頻発していますが、大垣市民病院はどう対応していますか。</p> <p>(事務局) トラブルは幸いにも当院では発生していませんが、もし期限切れの場合、国の方から対応するように聞いているので、保険証オンラインの資格確認で同意を得たうえで、こちらで確認するという対応をさせていただいております。</p> <p>(委員)</p>
--	--

	麻薬の流通が非常に悪いので、退院処方で麻薬のある方は、余裕を持った処方をしていただけます。土日を挟まない。挟んでもいいような処方をしていただきたいという事を全科にもう一度徹底していただきたいという事を希望します。
次回開催	令和7年度第2回委員会は8月8日に開催予定とする。